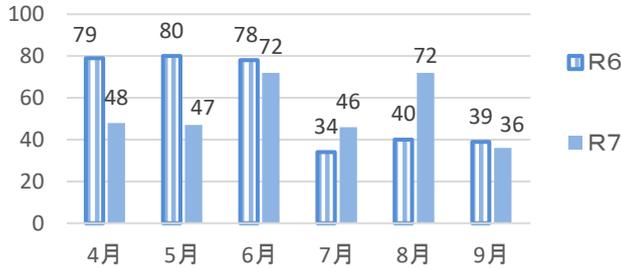


声かけ指導の内訳(4月～9月) 令和7年度

○声かけ指導人数

声掛け指導数(4月～9月)



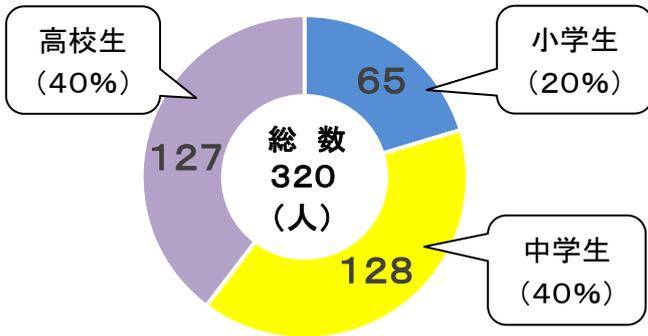
98名の指導員協力員とともに 街頭巡回指導実施！！

今年度も、郊外大型店やゲームセンターを中心に街頭巡回指導を実施しています。

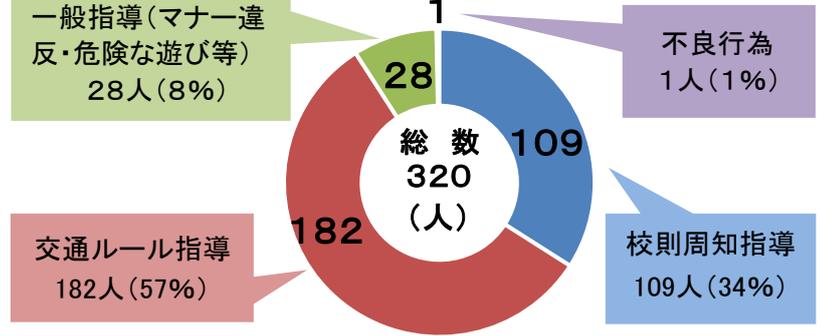
巡回は、当センター職員と各関係機関などから推薦された市民による指導協力員98名が協力して行っており、青少年には「愛ある声かけ」を心がけて指導しています。

声かけの主な内容は、小・中学生には、ゲームコーナーは保護者同伴での入場が必要であること(校則の周知)を伝えること、高校生には、スマートフォンを操作しながらの片手運転や、イヤホンを装着しての自転車走行など、交通ルールの遵守を促す指導となっています。

○学職別(小中高別)指導人数



○指導内容別人数



光南小で「子ども110番の家」PR活動を実施

5月17日(土)、PTA主催の学校環境整備活動の終了後、「子ども110番の家」の周知活動(PR)を実施し、児童・保護者あわせて約70名が参加しました。

参加した親子には、「子ども110番の家」とは何か、その重要性を解説したチラシを配布して説明を行い、その後、校区内の「子ども110番の家」を巡るスタンプラリーに出発しました。

スタンプラリーでは、参加者を4つのグループに分け、登録者宅や事業所に掲出されている「のぼり旗」を親子で確認しながら訪問しました。

参加者からは「親子で同じ目線で確認できてよかった」との声も寄せられました。

PTAからは、今後も継続して取り組みたいとの意見が多く、地域・家庭・学校が連携して子どもたちの安全を守る大切さを、改めて実感する機会となりました。



『子ども110番の家』のご登録にご協力を！！

Q 『子ども110番の家』への新規登録はどうすればいいの？

A 『帯広市青少年センター』までご連絡いただくか、2次元コードからインターネットでお申し込みいただけます。



各種お問い合わせは、青少年センターまでご連絡を！
 (直通:0155-66-4161)

(URL:<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=4L5TD3ID>)



2026年4月1日からは自転車にも反則金制度が導入されます

2026年4月から、信号無視・一時不停止・ながらスマホなどの違反に『青切符(交通反則通告制度)が適用されます。』

◆「青切符」主な交通違反と反則金 (※16歳以上が対象です。)



【信号無視】
反則金：6,000円



【一時不停止】
反則金：5,000円



【傘さし運転】
反則金：5,000円



【イヤホン使用】
反則金：5,000円



【並進走行】
反則金：3,000円



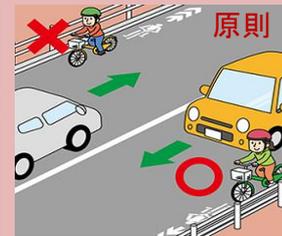
【二人乗り】
反則金：3,000円



【携帯電話使用等(保持)】
反則金：12,000円



【無灯火】
反則金：5,000円



【交通区分違反】 反則金：6,000円
(車道の右側通行・歩道通行)



命を守るヘルメット

乗用中の交通事故で亡くなられた方の5割が頭部に致命傷を負っています。交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることが重要です。

⚠ 次の場合は歩道を走ることができます。

- ① 歩道を走ってもいいという標識がある時
- ② 12歳以下の子ども・70歳以上の人・身体に障害がある人
- ③ 交通量の多い道路・幅が狭い道路を走る時



令和7年度帯広ネット非行対策講演会 「インターネットの安全・安心な使い方」

令和7年11月10日(月)、帯広市生徒指導連絡協議会との共催により、帯広市役所10階会議室で「令和7年度 ネット非行対策講演会」を開催し、市内の小中義務教育学校および高校の生徒指導担当教職員30名が参加しました。

今回は、十勝毎日新聞社 取締役(デジタル担当)伊藤 肇 氏を講師にお迎えし、「インターネットを安全・安心に利用するために必要なこと」をテーマに、具体例を交えながら分かりやすくご講話いただきました。

主なポイントは次のとおりです。

◎ 情報の信頼性や真偽を確認すること

インターネット上には、誤って広がる「誤情報」や、意図的に拡散される「偽情報」が存在します。ニュースやSNSで見かけた情報については、発信者や情報源、根拠の有無を自ら確認し、真偽を見極める力が求められます。

◎ SNSで投稿する前に一度立ち止まること

SNS上の不適切な投稿がトラブルに発展する事例が多発しています。利用にあたっては、入力後すぐに投稿せず、「本当に投稿してよい内容か」を一呼吸おいて見直すことが大切です。



本講演を踏まえ、SNSを含むインターネットを利用する際には、受け取る情報の真偽を確認する習慣を身に付けるとともに、発信する内容を冷静に見直すことを心がけましょう。